



豊玉二中だより

令和5年度 第1号
発行日 4月19日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

新年度を迎えて

校長 神山 信次郎

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

令和5年度は、豊玉第二中学校に81名の新入生が入学し、生徒数224名、学級数7学級でスタートしました。今年度も教職員一丸となり、より良い教育を行うべく精一杯努力をしております。今年度も昨年度にも増して本校の教育活動にご支援、ご協力お願い申し上げます。

6日の始業式で、2、3年生にはひとりひとりがこの一年を振り返った時に「私はこれを一年間頑張った」と言えるような一年間にしてほしい。そして「自分が頑張った」と言える一年にするためには、この4月、「やってみたいこと」「挑戦したいこと」「こつこつ積み上げたいこと」は何なのかをしっかりと考えてほしいという内容の話をしました。目標を立てることがまず大事であり、途中思い通りにいっていかなかったら、目標を修正しながら前へ前へと進む。大切なことは、何かに挑戦しようとする気持ち、つまり、夢や目標を持つことであり、また、やろうと決めたことは、一年間継続していくことなのです。もし、壁にぶつかったときは、「初心忘るべからず」という言葉を思い起こしてください。つまずき、あきらめそうになった時は、やり始めた時の緊張感、決意を思い出して、再度頑張ってください。簡単ではないかもしれませんが、この一年みんなで自分を鍛えていきましょうという話をしました。

7日には新入生を迎え、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席いただき、入学式を挙行いたしました。式辞の中で1年生には学習活動、行事、委員会活動、部活動等の活動の中で、いろいろな場面に自分を置いて、一生懸命取り組み、友達と励まし合って、学校生活を充実してほしいという話をしました。何事もそう易々と自分の思うようにいくものではありませんが、友達や、家族、先生等みんなで支え合って頑張ってください。誰にも等しく与えられたこの三年間を自分で自分をコントロールし、時間の使い方、今やるべきことを、自分で考えて有意義にしてください。

4月は出会いの季節と言われます。新しいクラス、新しい友達、新しい先生・・・との出会いがあり、この出会いを大切に、与えられた環境の中で、全力を尽くし、自分のさらなる成長を目指してほしいと思います。

